

# 「現代女性の美しさへの意識」調査Ⅰ

## ～『きれいな女性』志向について～

### ①『きれいな女性』を目指す意識とイメージ

ほとんどの女性になりたいと思う『きれいな女性』  
そのイメージは【内面】に関わりの深いイメージが主要構成要素  
【外見】はある程度の努力で達成できそうなイメージを目指す

### ②『きれいな女性』でいることの重要度と理由

8割が『きれいな女性』でいることを重要としている  
重要である理由は「前向きになれる」「自信がもてる」といった  
メンタル面での充足感が上位にあがる

### ③ 自分自身の『きれいな女性』でいることへの満足感

『きれいな女性』でいることへの満足は伸び悩んで2割  
『きれいな女性』でいることが重要である人ほど満足度はアップ

### ④ 将来の『きれいな女性』でいることの重要性

今後も『きれいな女性』でいることは重要になると思われている  
現在『きれいな女性』でいることが重要である人ほど、  
『きれいな女性』志向は今後いっそう強くなると思っている

### 【調査概要】

調査時期：2006年11月

調査方法：インターネット調査

調査対象：東京23区および政令指定都市(※1)に居住する 20～59歳の女性 2500人  
(20～24歳：283人、25～29歳：324人、30～34歳：380人、35～39歳：338人、  
40～44歳：295人、45～49歳：257人、50～54歳：280人、55～59歳：343人(※2))

※1 政令指定都市：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

※2 「平成17年国勢調査」から対象者居住地域の人口構成比にもとづいて年齢5歳単位で割付

2007年 2月15日

# ① 『きれいな女性』を目指す意識とイメージ

ほとんどの女性になりたいと思う『きれいな女性』

そのイメージは【内面】のイメージが主要構成要素

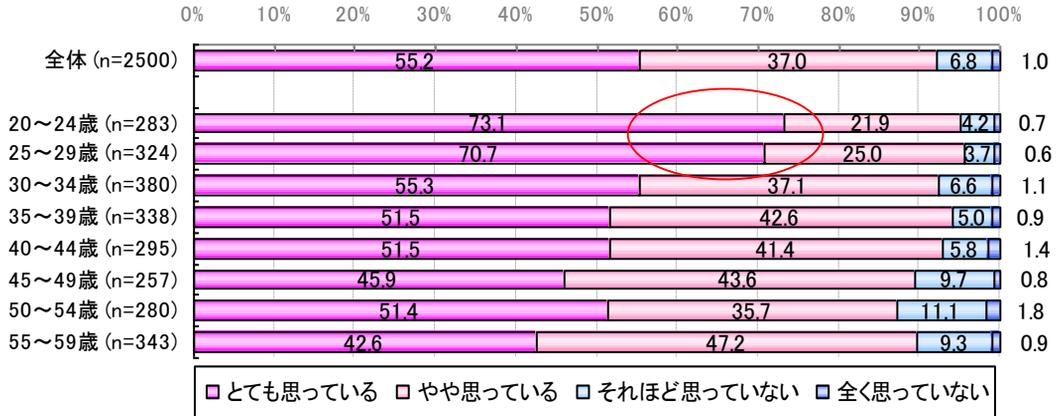
【外見】はある程度の努力で達成できそうなイメージを目指す

## 『きれいな女性』にどの程度なりたいと思っているの？

女性の約9割が『きれいな女性』になりたい(とても+やや)と思っている。

年代別にみると、各年代で9割前後が『きれいな女性』になりたい(とても+やや)と思っている。年代を通じて『きれいな女性』になりたい意識が持たれているものの、若年層ほど「とても思っている」が多くなっており、特に20代では『きれいな女性』を目指す意識が強くなっているとみられる。

【図表1 『きれいな女性』になりたい気持ち(1つだけ) 基数:全体】

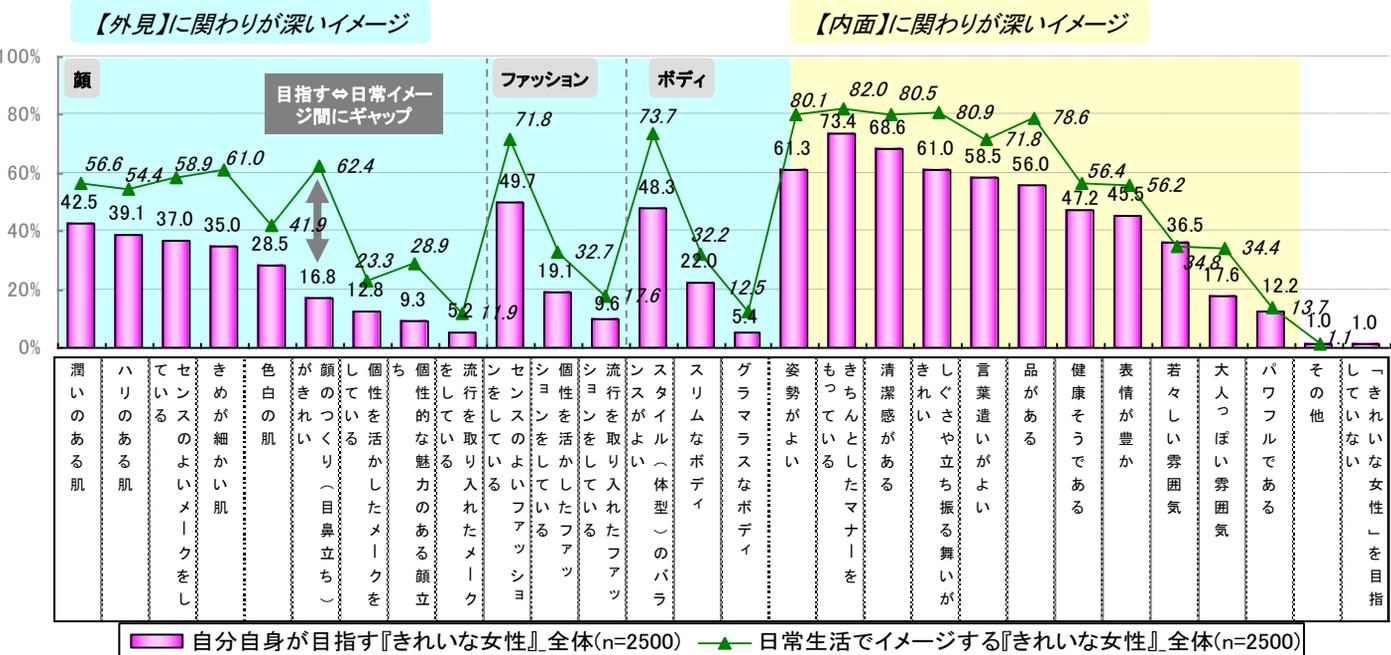


## 『きれいな女性』はどんなイメージ？

自分自身が目指す『きれいな女性』のイメージと日常生活でイメージする『きれいな女性』のイメージのふたつについて尋ねた。目指す『きれいな女性』のイメージは、顔、ファッション、ボディなどの【外見】に関わりが深いイメージ(【外見】イメージ)より、「マナー」「清潔感」「立ち振る舞い」といった【内面】に関わりが深いイメージ(【内面】イメージ)が多くイメージされている。

目指す【外見】イメージでは、「センスのよいファッション」「体型のバランス」「潤い・ハリのある肌」「センスのよいメイク」が上位。【外見】イメージ項目の「顔のつくり(目鼻立ち)」は、日常生活でのイメージでは62%に達しているものの、目指すイメージでは17%と低い。現実に関わりが深いイメージは、ある程度のケア・努力で達成できそうなイメージに近いとみられる。

【図表2 自分自身が目指す『きれいな女性』と日常生活でイメージする『きれいな女性』イメージ(いくつでも) 基数:全体】



## ② 『きれいな女性』でいることの重要度と理由

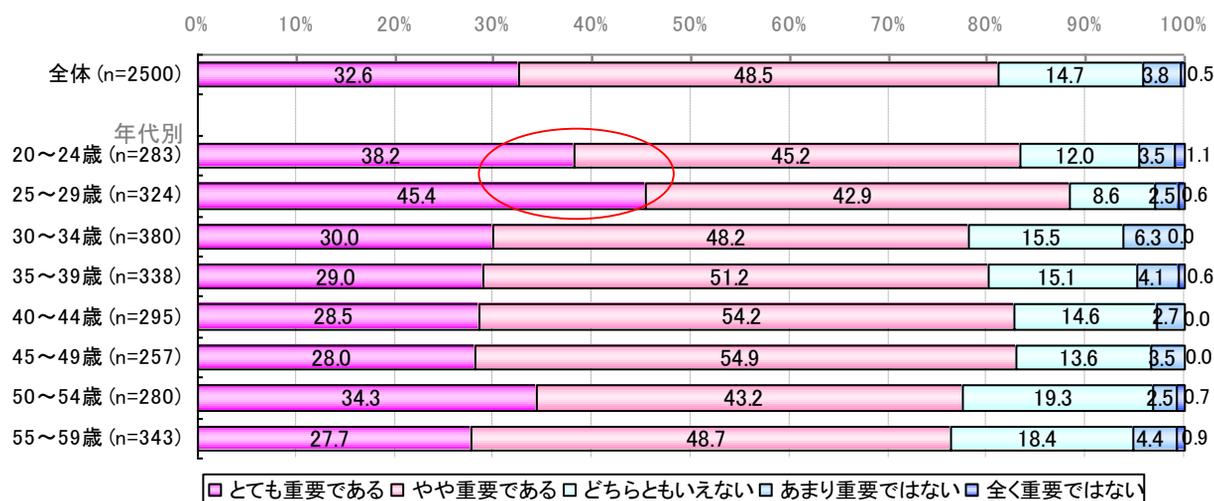
8割が『きれいな女性』でいることを重要としている  
 重要である理由は「前向きになれる」「自信がもてる」といった  
 メンタル面での充足感が上位にあがる

### 『きれいな女性』でいることはどれくらい重要？

女性の約8割が『きれいな女性』でいることは重要(とても+やや重要)と思っており、多くの人重要視している。

各年代において、8割前後が『きれいな女性』でいることは重要(とても+やや重要)と思っているなか、20代では「とても重要」が多く、意識の強さがうかがえる。

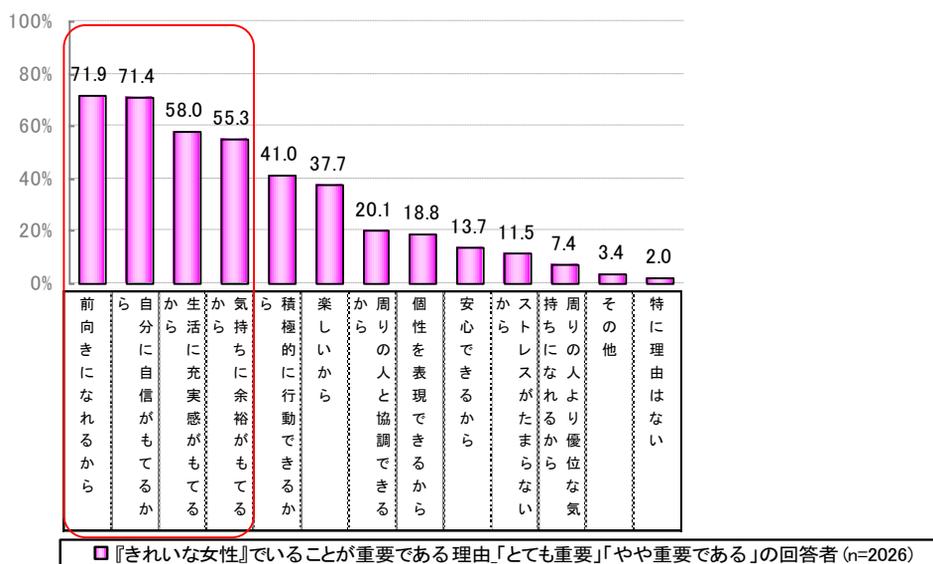
【図表3 現在、『きれいな女性』でいることの重要度(1つだけ) 基数:全体】



### 『きれいな女性』でいることが重要である理由とは？

『きれいな女性』でいることが重要である人の理由をみると、「周りや協調」「個性を表現」「周りより優位」といった周囲を意識した理由ではなく、「前向きになれる」「自分に自信」「生活に充実感」「気持ちに余裕」といった自分自身で感じられる、メンタル面での充足感につながる理由が過半数を占める。

【図表4 『きれいな女性』でいることが重要である理由(いくつでも) 基数:「とても重要」「やや重要である」の回答者】



### ③自分自身が『きれいな女性』でいることへの満足感

『きれいな女性』でいることへの満足は伸び悩んで2割

『きれいな女性』でいることが重要である人ほど満足度はアップ

女性は『きれいな女性』でいることについてどの程度満足している？

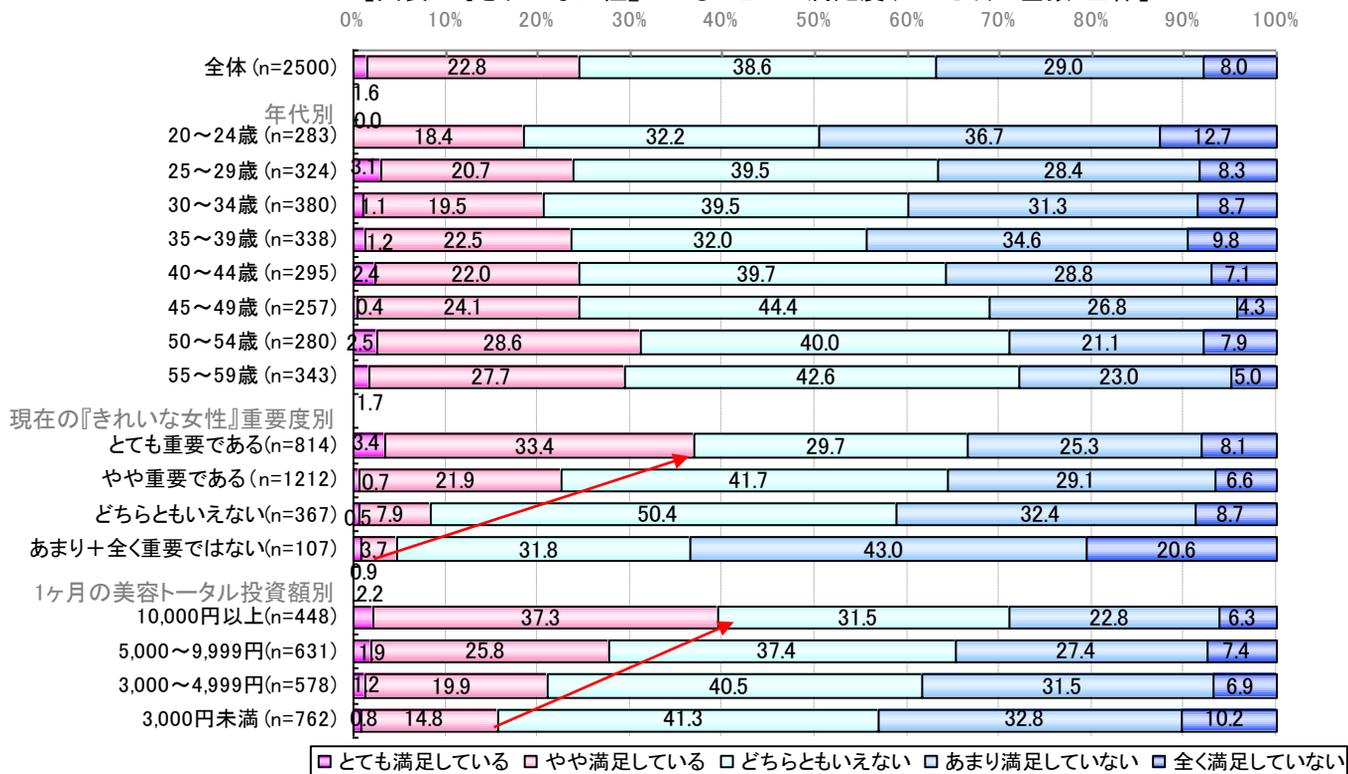
『きれいな女性』でいることが重要な人は満足している？

自分自身が『きれいな女性』でいることについて満足している人(とても+やや満足)は、全体で24%にとどまる。全体の8割が『きれいな女性』でいることは重要と思っていることを鑑みると(2頁参照)、満足度は伸び悩んでいるといえる。

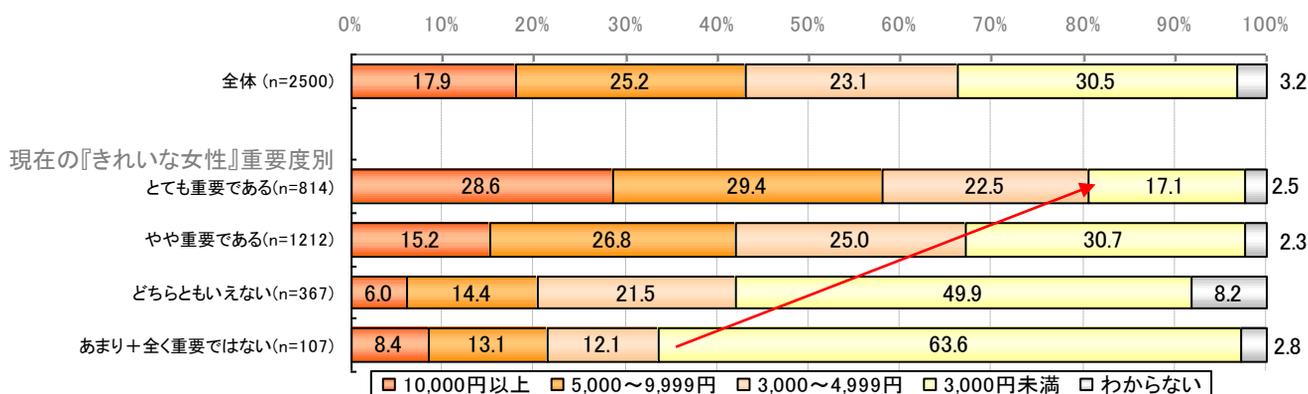
美容に関する投資額(スキンケア・メイクアップ・エステなど美容トータルへの投資)が多い人ほど、満足度が高く、積極的な美容投資行動を行うほど、満足感を得られているとみられる。ただし、1ヶ月に1万円以上の高額投資者においても、得られる満足は4割程度(とても+やや満足)と半数以下にとどまる。

また、『きれいな女性』でいることが重要である人ほど、満足感を得ている。『きれいな女性』でいることが重要である人は美容投資額が多いことから(図表6参照)、重要である人の積極的な美容行動が満足度アップにつながっていると推測される。

【図表5 『きれいな女性』でいることへの満足度(1つだけ) 基数:全体】



【図表6 1ヶ月の美容トータル投資金額(1つだけ) 基数:全体】



## ④将来の『きれいな女性』でいることの重要性

今後も『きれいな女性』でいることは重要になると思われている  
 現在『きれいな女性』でいることが重要である人ほど、  
 『きれいな女性』志向は今後いっそう強くなると思っている

### 『きれいな女性』でいることの重要度はこれからどうなる？

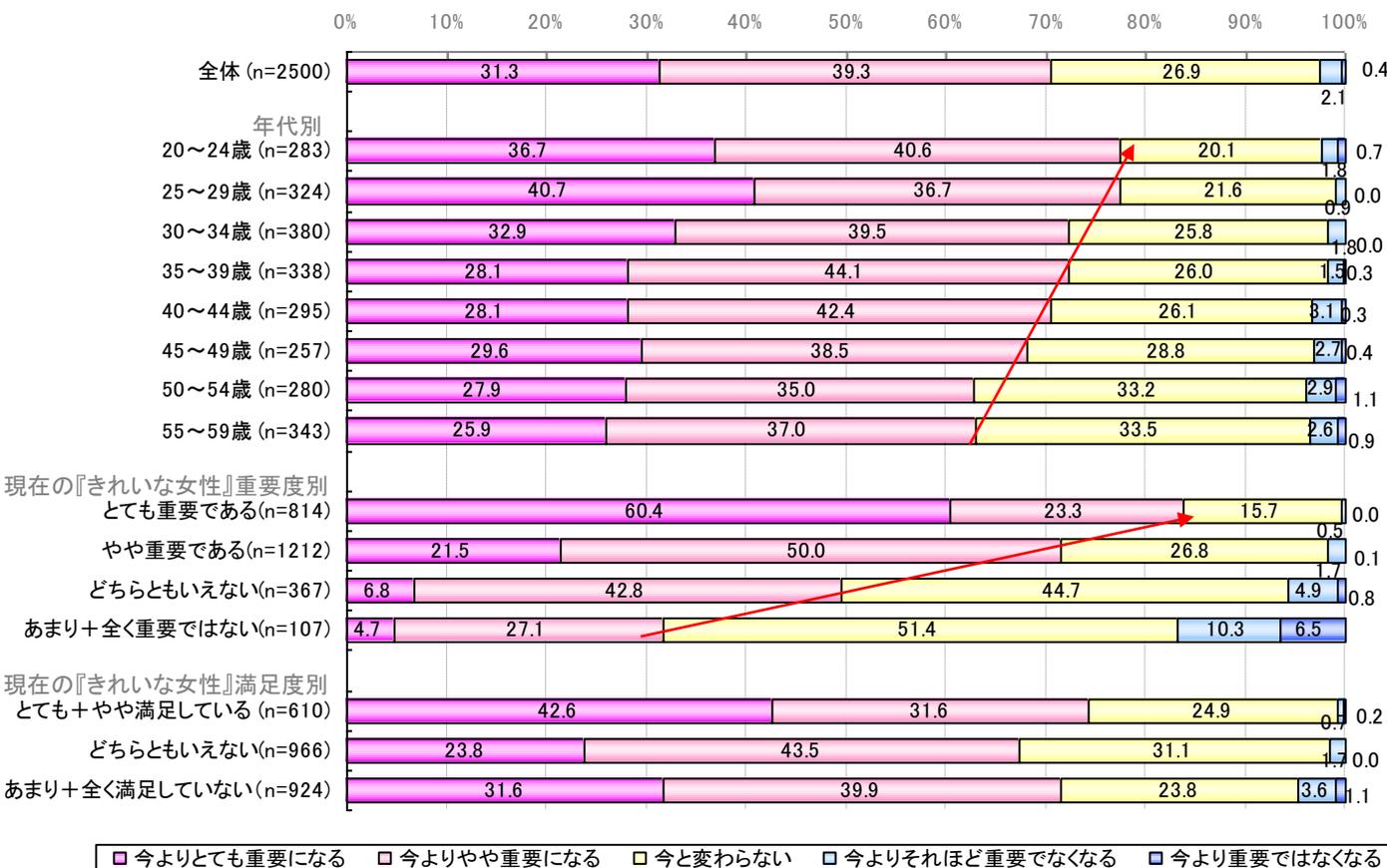
将来、『きれいな女性』でいることは、今より重要になると思う人(とても+やや重要)は71%、今と変わらないとする人は27%。ほとんどの人が、重要でなくならないと思っている。

年代別にみると、若年層ほど、将来『きれいな女性』でいることは、今より重要になると思っている傾向。

現在『きれいな女性』でいることが重要である人ほど、将来の重要度も増加している。現在「とても重要」である人では、6割が今よりとても重要になると思っており、今後いっそう強くなると思う『きれいな女性』志向を持っている。

また、現在の『きれいな女性』でいることへの満足度別にみると、満足している人(とても+やや満足)、満足していない人(あまり+全く満足していない)ともに、約7割が『きれいな女性』でいることは今より重要になる(とても+やや重要)と思っている。

【図表7 『きれいな女性』でいることの将来の重要度(1つだけ) 基数:全体】



## 結 語

調査した20～50代の女性のほとんどは『きれいな女性』でいることは重要と思っており、『きれいな女性』になりたいと思っている。

しかし、実際には自分自身が『きれいな女性』であることに満足している人は2割にすぎず、多くの人々が重要であるとする思いとの間には大きなギャップがある。

『きれいな女性』のイメージは、【内面】と【外面】という2つの視点から描かれているものの、【内面】的要素が主要構成要素となっている。

将来『きれいな女性』でいる重要性は、年代による多少の差はあるものの、今より重要になると考えられている。

『きれいな女性』志向は今より重要になることが予想され、多くの女性が今後、いくつになっても”内面を磨き”を大切にすると考えられる。